

衆議院議員

兵庫県第六選挙区
(伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさき

http://www.m-ogushi.com/

国政報告

- ✔ 新型コロナワクチン接種について
- ✔ 通常国会を振り返って：政策提言
- ✔ 通常国会を振り返って：委員会報告

ガゼット VOL. 25



大串まさき プロフィール

自由民主党 副幹事長
元 経済産業大臣政務官

- ▶ 昭和41年生まれ。報徳学園高卒(74回)。東北大学工学部卒(資源工学科)、同大学院修了(工学修士)。博士(知識科学)。
- ▶ IHI(工業炉設計部)、松下政経塾、大学准教授などを経て現職。現在3期目。
- ▶ 厚生労働・文部科学・経済産業など幅広い政策分野で活躍中。
- ▶ 専門：医療・福祉、教育政策など
- ▶ 家族：妻と二人暮らし(猫一匹)
- ▶ 趣味：釣り、絵画、多肉植物
- ▶ スポーツ：高校まで剣道一筋
- ▶ 好きな食べ物：カレー
- ▶ 座右の銘：威ありて猛からず

お問い合わせ先

自民党への入党のご希望、国政報告会への参加希望など、お問い合わせは下記までお願い致します。

〒664 兵庫県伊丹市中央 1-2-6
-0851 グランドハイツコーワ 2-12
TEL:072-773-7601
FAX:072-773-7602

✉ info@m-ogushi.com



自由民主党 兵庫県第六選挙区支部
ニューズレター

第25号(令和3年7月1日号)

頒布責任者：浅井勝弘
伊丹市中央 1-2-6 グランドハイツコーワ 2-12

印刷者：(有)弘栄堂印刷所
伊丹市中央 4-1-11

討議資料

新型コロナワクチン接種について

一刻も早く皆さまに安心して頂くために加速化しています

新型コロナウイルスのワクチン接種が始まっています。ワクチンは十分な量が確保されておりまして接種券が届いた方から順次ご予約の上、接種を受けて下さい。65歳以上の方々は7月末までに、また一般の方々も早期に接種が完了するように、市や医療関係者のご協力の下、全力を挙げて取り組んでいます。

接種順位と対象となる方

接種場所は、個別接種(各医療機関)、集団接種(指定会場)、大規模接種(大阪センター)がありますが、各市によって実施方針や準備の状況などが異なります。詳しくは、各市の窓口にお問い合わせ下さい。

大阪センターの予約はこちらへ



医療従事者等

高齢者への接種券配布

高齢者(65歳以上)

○ 職域接種(企業や大学等)もスタート

※2

高齢者等が入所・居住する社会福祉施設等(介護保険施設、居住系介護サービス、高齢者が入所・居住する障害者施設・救護施設等)において、利用者に直接接する職員。

高齢者以外への接種券配布

基礎疾患(※1)を有する者

高齢者施設等の従事者(※2)

60~64歳の者

上記以外の者

※1

○ 以下の病気や状態の方で、通院/入院している方

- ① 慢性の呼吸器の病気
- ② 慢性の心臓病(高血圧を含む)
- ③ 慢性の腎臓病
- ④ 慢性の肝臓病(肝硬変等)
- ⑤ インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- ⑥ 血液の病気(ただし、鉄欠乏性貧血を除く)
- ⑦ 免疫の機能が低下する病気(治療中の悪性腫瘍を含む)
- ⑧ ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- ⑨ 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患

- ⑩ 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態(呼吸障害等)
- ⑪ 染色体異常
- ⑫ 重症心身障害(重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
- ⑬ 睡眠時無呼吸症候群
- ⑭ 重い精神疾患(精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療(精神通院医療)で「重度かつ継続」に該当する場合)や知的障害(療育手帳を所持している場合)

○ 基準(BMI 30以上)を満たす肥満の方

支援策も拡充

緊急事態宣言の延長等を受けて、また、社会情勢の変化にあわせて支援策も随時拡充しています。【個人向け】【事業者・企業向け】と、きめ細かく、また地域毎にメニューが用意されています。詳しくは、新型コロナウイルス感染症対策「支援情報ナビ」をご覧ください。

「支援情報ナビ」はこちらへ



ワクチン開発

このコロナ禍で、ワクチン開発においては欧米に後れをとってしまった。これを契機に今後の我が国のワクチン開発や生産体制の強化に向けて「ワクチン開發生産体制強化戦略」を決定しました。世界トップレベルの研究開発拠点の形成や、研究費のファンディング機能の強化、承認プロセスの迅速化、治験環境(国内外)の整備、創薬ベンチャーの育成など、政府が一体となって必要な体制を構築します。

通常国会を振り返って：政策提言

今国会では、さまざまな分野の政策議論に関わって参りました。その中でも中心的に関わって政策提言をおこなったものを2点ご報告します。

01 行政改革推進本部 規制改革 PT

自民党の行政改革推進本部に設置された規制改革 PT (プロジェクトチーム) において、座長を拝命し議論と取りまとめをおこないました。従来のデジタル化の推進に加えて、データの利活用を推進する規制改革を断行する踏み込んだ提言としました。データの利活用には縦割り行政に基づく「情報の縦割り」を排除する必要があります。さらに、これまでの場当たりの規制改革の進め方では無く、規制改革が進まない要因分析をおこなった上で体系的な整理が必要です。引き続き規制改革を加速させて、我が国の生産性を高めていきます。



菅総理に提言書を提出

02 情報通信戦略調査会

情報通信分野の政策課題は、技術や環境の変化が速く、常に最新の情報をアップデートする必要があります。今国会では、同期の議員仲間の協力を得ながら「競争力強化」や「ネット問題」など5つの分野のWG (ワーキンググループ) で議論を重ねました。私も「情報リテラシー」のワーキングの主査を兼務し、全体の提言の取りまとめをおこないました。デジタル格差の解消や生体認証技術の活用、フェイクニュース対策、5G推進や6G技術への研究開発投資など多様な提言をおこないました。タイムリーなテーマだったこともあり、その多くが「骨太の方針」に採用され、来年度予算の中にも反映されることになりました。



武田総務大臣に提言内容を説明

通常国会を振り返って：委員会報告

今国会では、厚生労働委員会、文部科学委員会、憲法審査会、拉致問題特別委員会に所属して、質疑などをおこないました。主だった内容についてご報告します。

▶厚生労働委員会

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法の一部を改正する法律案の審議で質疑をおこないました。現在、後期高齢者医療の窓口負担は原則1割となっていますが、一定所得以上の方には2割の負担をお願いするものです。過剰な報道で、全ての後期高齢者の負担が2倍になると誤解が生じていました。実際の対象者は3割程度で多くの方の負担は増えません。野党は「受診控え」が生じて、逆に医療費が増えるといいますが明確な根拠は示されていません。今後は、受診の在り方を含めてデータの蓄積と分析が必要です。



厚労委員会にて質疑

▶憲法審査会

憲法審査会で審議されていた国民投票法改正案。内容自体は公選法の規定と同等の「投票の利便性を高める」ものなので全く問題視されるものではありませんが、一部の野党による採決の拒否などが続き9国会3年を経ての成立となりました。コロナ禍の反省から、やはり憲法から見直すべきだと思える人は多いと思います。他にも日本を取り巻く環境も大きく変わってきていますし、災害にも備えなければなりません。今後、憲法改正に向けた議論が進むことを期待しています。

▶北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会

2年ぶりの開会となった拉致問題特別委員会。私は与党の理事を務めています。拉致問題担当大臣 (官房長官) と外務大臣、国家公安委員長という多忙な3大臣による答弁を必要とする特殊な委員会、例年、日程の調整が課題となっています。多くは外交交渉の話なのでオープンには出来ませんが、活発に審議をすること自体が、北朝鮮に対しても圧力になります。政府としても、最重要課題として位置づけている以上、党内も含めて議論の機会を、もっと増やして行くべきと考えています。

国政報告会のご案内

以下の通り国政報告会を開催させていただきます。入場無料です。参加ご希望の方はご一報下さい。

川西 8月7日 (土)
11:00 ~ 12:00
キセラ川西プラザ
文化棟 2階 大会議室
川西市火打 1-12-16

伊丹 8月8日 (日)
10:30 ~ 11:30
伊丹市立図書館 地下
ことば蔵 多目的室 1
伊丹市宮ノ前 3-7-4

宝塚 8月8日 (日)
14:00 ~ 15:00
宝塚市立南口会館
集会室
宝塚市南口 2-14-5-3

なお、感染症対策として手指消毒・マスクの着用など、ご協力をお願いします。
また、社会情勢によっては中止となる場合がございますので、その際には、ご了承下さい。

【先にご案内しておりました6月の報告会は緊急事態宣言の延長に伴い中止としました。】

編集後記

先の県議補選 (宝塚市) では、皆さまからのご支援を賜り「風早ひさお」が当選を果たすことができました。今後、国と県と市で力を合わせて諸課題に取り組んで参ります。私の元に寄せられる地域課題の多くは県の所管ですので、

機動力のある県議は頼もしい存在です。宝塚で取り組みたい課題も沢山あるので、連携しながら、ひとつひとつ成果を出してご報告させていただきます。それにしても、まずはワクチン接種のスピードアップが課題です。こちらもしっかりサポートしてまいります。